

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター中央館
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話：06-6208-9156）
条例上の設置目的	男女共同参画社会の実現をめざす活動の拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。
業務の概要	センター施設の管理・運営、男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供、男女共同参画社会の形成に関する講演会・講習会・研修会等の開催、男女共同参画に係る問題に関する相談、男女共同参画社会の形成に関する啓発、男女共同参画社会の形成に関する調査及び研究、その他市長が必要と認める事業
成果指標	貸室等利用率／貸室等利用者満足度／情報・図書コーナー利用者数／講座受講者数／講座受講者満足度／相談事業満足度／女性チャレンジ応援拠点利用者数／女性チャレンジ応援拠点利用者満足度
数値目標	69.6%以上／80%以上／9,000人以上／800人以上／80%以上／80%以上／600人以上／80%以上
指定管理者名	大阪市男女共同参画推進事業体 （代表者）一般財団法人大阪男女いきいき財団 （構成員）サントリーパブリシティサービス株式会社 （構成員）グローブシップ株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸室等利用率	貸室等利用者満足度	情報・図書コーナー利用者数	講座受講者数
数値目標	69.6%以上	80%以上	9,000人以上	800人以上
年度実績	58.8%	99.75%	6,257人	1,186人
達成率	84.5%	124.7%	69.5%	148.3%

成果指標	講座受講者満足度	相談事業満足度	女性チャレンジ応援拠点利用者数	女性チャレンジ応援拠点利用者満足度
数値目標	80%以上	80%以上	600人以上	80%以上
年度実績	96.9%	99.0%	727人	99%
達成率	121.1%	123.8%	121.2%	123.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	311,191	201,541	109,650
稼働率	58.8%	51.6%	7.2%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	246,756,959	269,065,206	2,002,959	新型コロナウイルス感染症の影響による定員制限による利用率低下に伴う利用料金収入減、及び物価高騰に伴う光熱費増加に対する補填実施による増
	計画	244,754,000	245,268,000		
利用料金収入	実績	52,258,800	36,657,100	△3,242,200	新型コロナウイルス感染症の影響による定員制限による利用率低下による減
	計画	55,501,000	55,341,000		
その他収入 (自主事業収入)	実績	7,043,198	5,177,928	△5,227,802	新型コロナウイルス感染症の影響による自主講座の実施回数・定員制限による減
	計画	12,271,000	12,176,000		
合計	実績	306,058,957	310,900,234	△6,467,043	
	計画	312,526,000	312,785,000		

令和4年度 指定管理者年度評価シート

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	150,321,626	153,382,367	△ 4,618,374	当初計画と比して、一部人件費の単価減
	計画	154,940,000	154,940,000		
物件費	実績	147,284,308	151,337,134	853,308	物価高騰に伴う光熱費の増
	計画	146,431,000	146,776,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	6,215,269	4,424,898	△ 4,939,731	新型コロナウイルス感染症の影響による自主講座の実施回数・参加者減による減
	計画	11,155,000	11,069,000		
合計	実績	303,821,203	309,144,399	△ 8,704,797	
	計画	312,526,000	312,785,000		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室等利用率	84.5%	C	
貸室等利用者満足度	124.7%	S	
情報・図書コーナー利用者数	69.5%	C	
講座受講者数	148.3%	S	
講座受講者満足度	121.1%	S	
相談事業満足度	123.8%	S	
女性チャレンジ応援拠点利用者数	121.2%	S	
女性チャレンジ応援拠点利用者満足度	123.8%	S	

(2) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による定員制限について、継続して柔軟な対応を行った。 ・大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証企業への割引制度、平日限定ホール時間貸出を令和4年度、新たに導入し、施設予約の面で利便性向上に取り組んだ。 ・令和3年度に導入したWeb予約、コンビニ収納について、広報を強化するなど利用促進に向け取り組んだ。
事業計画の実施状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に引き続き、オンラインセミナー、オンデマンドセミナーを実施するとともに、令和4年度は若年者を対象とした事業を広範的に取り組み、テレビや新聞などマスコミに取り上げられた。 ・相談業務においては、電話、面接、メールなど既存の手法以外の新たな形態として、アバター活用を試行的に実施することで、相談ニーズの可能性を広げた。 ・各種セミナー(男女共同参画、地域出前)や事業の実施にあたり、特に若年者層に対する取り組みを強化するとともに、InstagramやTwitterといった各種SNS媒体を継続して活用し、広報周知に努めた。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

	施設の有効利用	B	<ul style="list-style-type: none"> ・情報・図書コーナーに隣接するスペースを活用し、小規模展示に適したサイズのスペースとして、「ひと（人・一）棚ギャラリー」を新設し、活動発表の場を提供した。 ・保育室開放デーの実施、展示ギャラリー活用事業の実施などを実施することで一般利用として活用する以外に有効活用する方策を実施した。
	社会的責任・市の施策との整合性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・国際ガールズ・デーや国際女性デー等において、クレオ大阪5館の横断的な取組として各館で実施する事業を取りまとめるとともに、一元的な広報啓発に取組むなど本市の基幹的な役割を担った ・コロナ型セミナーでは募集受付時期・応募書類提出先を一括して行うとともに、またオンデマンドセミナーについても前年度に引き続き、撮影業者の一括手配を行う等、クレオ大阪各館の統括的役割を果たした。

(3) 市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・電力およびガスの需給契約について、競争的手法により事業者を選定した。また、電力需給契約に省エネ実践サービスを付加した。 ・光熱水費の縮減を図るため、デマンドコントローラーを活用し、電気使用量の抑制管理を行った。 ・省エネルギーを推進し光熱水費の縮減を図るため、デマンドコントローラーを活用し、電気使用量の抑制管理を行った。 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・事業体構成者による専門的な知見を施設の管理運営に生かしており、緊急度・重要度の高い維持補修を効果的・効率的に実施している。 ・利用者サービスの向上に努めつつ、限られた予算の範囲内で多様な事業が実施できるよう経費削減に努め、経費を抑えながら効用を最大化する施設・事業運営を行った。

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>【令和4年度実績】 スタッフ対応満足度：99.8% 受講者満足度：96.9%（男女共同参画セミナー） （参考値：10段階評価）スタッフ対応満足度：92.9%、施設・設備満足度：91.1%、受講者満足度：85.2%</p> <p>【参考：令和3年度実績】 スタッフ対応満足度：99.9% 受講者満足度：98.8%（男女共同参画セミナー）</p>

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の外部専門家の意見を迅速に事業に反映し、より良い施設運営に努めている点については十分に評価できる。 ・大阪市24区それぞれに特色・事情があり、防災でもビル街・住宅街といった地域性もあることから、同じテーマでも地域性に応じた内容とする等、引き続き創意工夫していただきたい。 ・令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、今後も継続した事業に取組むとともに、今期の指定管理期間での提案以上の内容となることを期待する。 ・高齢者層へも男女共同参画施策の展開を期待する。とりわけ、50・60歳代から相談が多く寄せられていることもあることから、多く寄せられている相談内容をテーマにした男女共同参画セミナーを実施についても検討してもらいたい。 ・昨年度の意見として挙げていた「教育現場とのつながり」において、さらなる教育現場との連携を図っていただき、若年者層が安心して利用できる居場所づくり（＝施設運営）を期待する。 ・また、昨年度の意見でもあった「教育現場のニーズ把握」についても、単にニーズ把握するだけでなく、課題であるクレオ大阪の認知度拡大についても地道に取組みを実施したことについては評価するとともに、今後も継続的に取り組むことを期待する。

令和4年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見					
成果指標の達成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用や講座受講に関する満足度など多くの項目で、目標値を上回っている。 ・引き続き、利用者や受講者の具体的意見を踏まえた改善に努めていただくとともに、提案時の目標を達成できるよう、課題分析し、利用促進に努めてもらいたい。 					
管理運営の履行状況 <table border="1" data-bbox="185 555 703 987"> <tr> <td data-bbox="185 555 703 645">施設の設置目的の達成及びサービスの向上</td> <td data-bbox="185 645 703 734">施設の管理運営</td> <td data-bbox="185 734 703 824">事業計画の実施状況</td> <td data-bbox="185 824 703 913">施設の有効利用</td> <td data-bbox="185 913 703 987">社会的責任・市の施策との整合性</td> </tr> </table>	施設の設置目的の達成及びサービスの向上	施設の管理運営	事業計画の実施状況	施設の有効利用	社会的責任・市の施策との整合性	B+	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による施設運営において、本市とクレオ大阪5館の窓口として中心的な役割を担うとともに、変化する状況に適切に対応し市民や利用者への影響を最小限に抑えた。 ・地域出前セミナーで出張する学校等で聞き取りを行うなど、教育現場での男女共同参画に関するニーズを汲み取り、事業への反映を検討いただきたい。 ・担当区毎の地域性や特色等の把握に努め、地域の実情に寄り添った事業を実施していただきたい。 ・他のクレオ大阪各館と連携し、各館で事業のすみわけを行うなど、幅広い分野をカバーして男女共同参画施策を展開していただきたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	施設の管理運営	事業計画の実施状況	施設の有効利用	社会的責任・市の施策との整合性			
市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）	-	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による影響及び本市の対応を踏まえ、当該項目については評価対象外とする。 ・物価高騰が続いているものの、今後も引き続き節減に努めていただくとともに、利用料金を中心とした収入の確保に努めてもらいたい。 					
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響がある中、クレオ大阪各館の統括的役割を果たすとともに、令和3年3月に策定した「第3次大阪市男女きらめき計画」の趣旨・目的を踏まえた適切な管理を行っている」と評価できる。 ・とりわけ成果指標で多数の項目において、高い達成率を得ていることは高く評価でき、今後は、施設の利用状況（利用率）について、提案時の目標を達成できるよう、引き続き課題分析し、利用促進に努めていただきたい。 ・引き続き、基幹的機能を果たす中央館として、5館全体での情報共有や事業の効率化を先導する役割を担っていただきたい。 					